

第8回東アジア人文学フォーラム報告

河野 貴美子

The brief report of the 8th East Asian Humanities Forum

Kimiko KONO

早稲田大学、漢陽大学校、清華大学、台湾大学、南開大学の5校の代表が毎年一堂に会し行ってきた第8回東アジア人文学フォーラムが、2016年度は清華大学を会場として開催された。今回のフォーラムテーマは「東アジア世界の物質文化と精神文化」。早稲田大学文学学術院からは千野拓政教授、藤本一勇教授、國弘暁子准教授、荒井泰助教が参加し研究発表を行い、河野は司会者として参加した。各校からの参加者は、人文学の各領域からフォーラムのテーマに取り組み、発表を行うとともに熱心に討論を交わした。詳細は下記の通り。なお、次回東アジア人文学フォーラムは早稲田大学で開催される。

期 間：2016年10月14日（金）～17日（月）

14日：現地到着

15日：フォーラム1日目

午前：開会式、記念撮影
発表及び総合討論

16日：フォーラム2日目

午前：発表及び総合討論
会議の総括及び次回フォーラムテーマの協議

午後：清華大学藝術博物館見学

17日：解散

場 所：清華大学（人文学院）

参加者：5校より合計24名（早稲田大学文学学術院5名、漢陽大学校人文学院5名、南開大学文学院4名、台湾大学文学院5名、清華大学人文学院5名）

内 容：15日は開会式に続き、研究発表が行われた。発表は1人20分、3名～4名が1グループとなり、発表に続いて総合討論の時間が設けられた。15日は午前と午後に各2グループずつ、16日午前に2グループの発表と総合討論が、各校の司会者の進行のもと行われ、最後に会議の総括と次回フォーラムテーマの協議がなされた。

言 語：日本語、中国語、韓国語による発表や司会、ディスカッションに際しては同時通訳が行われた（英語による発表は通訳はなし）。

閉会式の挨拶での提案（清華大学・代表：劉石教授）

- ・本フォーラムの成果刊行物作成の可能性について
- ・今後のフォーラムにおける他大学（例えば香港）の参加の可否について

来年度（2017年度）早稲田大学開催のフォーラムに向けて：

- ・会期は2017年12月の第1週から第3週の週末を予定 ⇒ 2017年12月16・17日開催に決定
- ・次回フォーラムテーマ ⇒ 「東アジアの人文学の復興」

